

感染症・ウイルス検査

感染症

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3516	CRP(定量) 5C070-0000-023-062	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	16 免疫	LA	0.30以下 mg/dL		【高値】炎症性疾患・心筋梗塞 感染症・悪性腫瘍・自己免疫性疾患
2396	高感度CRP	血清 0.6	1	冷蔵	3~5		ラテックス 凝集比濁法	0.14以下 mg/dL		【高値】動脈硬化症・血栓症 クラミドフィラ・ニューモニエ感染症 炎症性疾患
3515	ASO (抗streptolysin O) 5E035-0000-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~3	15 免疫	LA	160以下 U/mL		【高値】溶連菌感染・リウマチ熱 急性糸球体腎炎・猩紅熱・肝炎
3518	ASK(半定量) (抗streptokinase) 5E036-0000-023-117	血清 0.2	1	冷蔵	3~4	29 免疫	PA	1280以下 倍		【高値】溶連菌感染症
3520	寒冷凝集反応 5E105-0000-023-102	血清 0.5	1	冷蔵	4~6	11 免疫	HA	64未満 倍		【高値】発作性寒冷色素素尿症 伝染性単核症・悪性リンパ腫 溶血性貧血・レイノー症候群 マイコプラズマ肺炎
3565	(1→3)β-D-グルカン 5E151-0000-019-271	ヘパリン 血液 2.0	5 6 (専用)	血液 冷蔵	3~5	201 免疫	発色合成基質法	20.0以下 pg/mL	【偽陽性】 溶血・透析でのセルロース膜使 用者・アルブミン・グロブリン製剤 投与・多発性骨髄腫・サルファ剤 など	【高値】深在性真菌感染症 ニューモシスチス肺炎
3859	エンドキシン定量 5E046-0000-019-297	ヘパリン 血液 2.0	5 6 (専用)	血液 冷蔵	3~5	236 免疫	比濁時間分析法 (エンドスペース法)	1.0以下 pg/mL		【高値】グラム陰性菌感染症 敗血症・炎症性疾患・多臓器不全
9664	透析液中エンドキシン定量 5E048-0000-095-271	透析液 5.0	5 7 (専用)	冷蔵	3~5		合成基質法	EU/mL		【高値】グラム陰性菌感染症
2804	透析液細菌検査 R2A-MF	透析液 10~50	専用 容器	冷蔵	10~14		メンブレン フィルター法			【高値】グラム陰性菌感染症
9726	エンドキシン透析液RO 5E048-0000-095-271	透析液 5	専用 容器	冷蔵	3~5		合成基質法	EU/mL		【高値】グラム陰性菌感染症
2741	プロカルシトニン (PCT) 5C215-0000-023-053	血清 0.4	1	絶凍	4~6	284 生化I	ECLIA	0.05以下 ng/mL	敗血症(細菌性)鑑別診断のカットオフ値: 0.50ng/mL未満 敗血症(細菌性)重症度判定のカットオフ値: 2.00ng/mL以上 ※ビオチンの干渉(下段参照)	【高値】敗血症 重症の細菌・真菌・寄生虫感染症

※ビオチンの干渉:5mg/日以上ビオチンを投与している場合、測定結果が偽高値または偽低値になる可能性がありますので、採血は投与後、少なくとも8時間以上経過してから行ってください。

※(1→3)-β-D-グルカンは、深在性真菌感染症が疑われる患者に対する治療方法の選択又は深在性真菌感染症に対する治療効果の判定に使用した場合に算定する。
なお、本検査をカンジダ抗原定性、クリプトコッカス抗原定性又はアスペルギルス抗原と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

※プロカルシトニン(PCT)は、敗血症(細菌性)を疑う患者を対象として測定した場合に算定できる。
ただし、エンドキシン検査を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。